



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 大

上場会社名 シンワオックス株式会社
コード番号 2654 URL <http://www.shinwa-ox.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 幸延

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長 (氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,825	15.7	157	646.9	141		146	
23年3月期第1四半期	2,166	51.8	21		86		156	

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 131百万円 (%) 23年3月期第1四半期 159百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.04	
23年3月期第1四半期	1.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,236	578	22.9
23年3月期	2,238	447	16.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 512百万円 23年3月期 369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		0.00		0.00	0.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,561	17.6	296	246.1	282		261		1.86
通期	7,289	14.3	620	75.2	593	608.3	549	80.0	3.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	151,451,750 株	23年3月期	151,451,750 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	11,242,601 株	23年3月期	11,242,601 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	140,209,149 株	23年3月期1Q	151,396,649 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復の兆しが見られたものの、東日本大震災の影響により、東日本を中心に経済活動が停滞し、さらに原子力発電所事故による電力不足の長期化から、国内景気と個人消費の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、安定的な収益を生み出す給食事業に経営資源を集中させ、さらに前期より開始いたしました介護事業を強化し、引き続き「収益力の強化」と「財務体質の健全化」に向け取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,825百万円（前年同四半期比 15.7%減）、営業利益157百万円（前年同四半期比 646.9%増）、経常利益141百万円（前年同四半期は、経常損失86百万円）となり、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は、146百万円（前年同四半期は、四半期純損失156百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、セグメント名称を「外食・ホテル事業」より「外食事業」に変更しております。以下、前年同期比較については、当該事項を反映した前年同期の数値を用いております。

① 卸売事業

卸売事業におきましては、東日本大震災の影響による経済の悪化、さらに原子力発電所事故による放射能汚染の問題、また、焼肉店における集団食中毒事件が発生し、生食に対する規制が強化されるなど食肉業界においても重大なニュースが立て続けに発生いたしました。当社が取り扱っている商品におきましては、取扱商品の多様化により売上額は増加いたしました。利益面におきましてはこれらの影響により前期より減少いたしました。

また、現在、新たな商品のブランド化への取り組みを実施しておりますが、今後については基盤の強固に向けて努めてまいります。

以上の結果、卸売事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、271百万円（前年同四半期比 9.3%増）、営業利益は、8百万円（前年同四半期比 29.0%減）となりました。

② 外食事業

外食事業におきましては、連結子会社であるOX (H. K.) COMPANY LIMITEDが、香港にて外食店舗の運営を行っておりますが、不採算店舗の業態変更、優良店のFC参加等を積極的に行い、基盤の強化に努めております。

また、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、国内における外食事業より完全撤退しております。

以上の結果、外食事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、堂島ホテル株式会社を連結の範囲から除外したことにより257百万円（前年同四半期比 28.1%減）となり、営業損失は、OX (H. K.) COMPANY LIMITEDの店舗業態変更による改装費用等の一時的な発生により12百万円（前年同四半期は、5百万円の営業利益）となり、売上高及び営業利益は減少いたしました。

③ 給食事業

給食事業におきましては、計画と乖離することなく、売上高、営業利益とともに受託施設についても堅調な推移を見せております。

今後におきましても、堅実に増収増益を見込める事業として基盤の強化に努めてまいります。

以上の結果、給食事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,217百万円（前年同四半期比 11.1%増）、営業利益は、188百万円（前年同四半期比 16.6%増）となりました。

④ 介護事業

介護事業におきましては、平成22年5月より、株式会社ベストライフの開設した高齢者介護施設の入居斡旋業務を行っており、売上高、営業利益ともに堅調な推移を見せております。

以上の結果、介護事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、79百万円（前年同四半期比 547.3%増）、営業利益は、62百万円（前年同四半期比 643.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、1,657百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円減少いたしました。これは主に未払費用が81百万円、短期借入金が70百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は578百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益146百万円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.9%（前連結会計年度末は16.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,925	333,711
受取手形及び売掛金	643,019	636,017
商品	109,977	159,998
貯蔵品	9,127	9,576
その他	53,204	27,024
貸倒引当金	△20,027	△17,899
流動資産合計	1,153,226	1,148,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	237,002	255,985
土地	263,240	263,240
その他（純額）	21,373	28,457
有形固定資産合計	521,616	547,683
無形固定資産		
のれん	437,786	430,375
その他	2,778	2,695
無形固定資産合計	440,565	433,071
投資その他の資産		
その他	425,772	421,824
貸倒引当金	△310,549	△314,237
投資その他の資産合計	115,222	107,586
固定資産合計	1,077,403	1,088,341
繰延資産	7,539	—
資産合計	2,238,169	2,236,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	236,682	234,018
短期借入金	926,208	856,208
未払金	297,719	330,633
未払法人税等	34,819	8,612
賞与引当金	24,902	18,221
返品調整引当金	4,244	5,269
その他	191,023	139,568
流動負債合計	1,715,599	1,592,531
固定負債		
長期借入金	16,367	15,346
長期未払金	59,107	50,107
固定負債合計	75,474	65,454
負債合計	1,791,074	1,657,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△4,322,898	△4,176,557
自己株式	△42,303	△42,303
株主資本合計	332,414	478,755
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,073	33,944
その他の包括利益累計額合計	37,073	33,944
少数株主持分	77,606	66,086
純資産合計	447,094	578,786
負債純資産合計	2,238,169	2,236,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	2,166,927	1,825,786
売上原価	1,300,361	1,246,675
売上総利益	866,565	579,111
返品調整引当金戻入額	—	4,244
返品調整引当金繰入額	—	5,269
差引売上総利益	866,565	578,086
販売費及び一般管理費	845,544	421,079
営業利益	21,021	157,007
営業外収益		
受取利息	295	43
受取配当金	38	—
受取手数料	1,132	394
その他	1,623	84
営業外収益合計	3,089	522
営業外費用		
支払利息	71,336	5,378
株式交付費償却	26,276	7,539
その他	12,579	3,361
営業外費用合計	110,192	16,278
経常利益又は経常損失 (△)	△86,081	141,251
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	23,717	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,096	—
その他	13,821	—
特別損失合計	64,634	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△150,715	141,251
法人税、住民税及び事業税	3,173	3,424
法人税等合計	3,173	3,424
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△153,889	137,827
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	2,282	△8,513
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△156,172	146,341

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△153,889	137,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	386	—
為替換算調整勘定	△6,085	△6,135
その他の包括利益合計	△5,698	△6,135
四半期包括利益	△159,587	131,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△158,888	143,211
少数株主に係る四半期包括利益	△698	△11,520

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	外食・ホテ ル事業	給食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	248,048	810,984	1,095,593	2,154,627	12,300	2,166,927	—	2,166,927
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,567	78	—	2,645	—	2,645	△2,645	—
計	250,616	811,062	1,095,593	2,157,272	12,300	2,169,572	△2,645	2,166,927
セグメント利益又は損 失(△)	11,339	△54,895	161,222	117,667	8,388	126,055	△105,034	21,021

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、高齢者介護施設等の紹介幹旋業務であります。

2. セグメント利益の調整額△105,034千円には、のれんの償却額△6,090千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,944千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	271,042	257,635	1,217,488	79,620	1,825,786	—	1,825,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	271,042	257,635	1,217,488	79,620	1,825,786	—	1,825,786
セグメント利益又は損失(△)	8,053	△12,164	188,027	62,394	246,311	△89,303	157,007

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,311
セグメント間取引消去	779
のれんの償却額	△6,090
全社費用(注)	△83,993
四半期連結損益計算書の営業利益	157,007

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれておりました高齢者介護施設等の紹介斡旋業務に係る事業を分離独立し、「介護事業」を新設いたしました。

また、従来「外食・ホテル事業」と称していた事業は、平成22年12月21日付けで堂島ホテル株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、セグメント名称を「外食事業」に変更しております。

これにより、従来「卸売事業」、「外食・ホテル事業」及び「給食事業」の3つを報告セグメントとしておりましたが、これを「卸売事業」、「外食事業」、「給食事業」及び「介護事業」の4つに変更しております。

変更後の事業区分による前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	外食事業	ホテル 事業	給食事業	介護事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	248,048	358,383	452,600	1,095,593	12,300	2,166,927	—	2,166,927
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,567	—	78	—	—	2,645	△2,645	—
計	250,616	358,383	452,679	1,095,593	12,300	2,169,572	△2,645	2,166,927
セグメント利益又は損失 (△)	11,339	5,287	△60,182	161,222	8,388	126,055	△105,034	21,021

(注) 1. セグメント利益の調整額△105,034千円には、のれんの償却額△6,090千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△98,944千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。